

# 留学生いわて

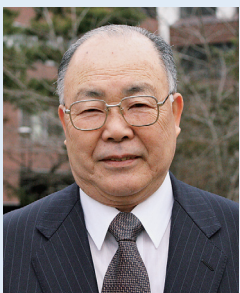
2010年度 No.23 岩手県留学生交流推進協議会



富士大学 中国人留学生史跡見学

## 留学生のみなさんへ

富士大学長 藤原隆男



私の留学の経験は皆さんのように若いときではなく、大学で教員をするようになってからで、それもいい加減年を取ってからです。このようなわけで、留学の目的は長期間留学して新しい学問を学ぶことではなく、短期間の留学で将来の研究上のお友達を作ること、文献の収集と旅行をすることで見聞を広め、できれば異文化を学ぶことでした。イギリスのスコットランドにあるグラスゴー大学に行ったのは30年も前のことです

が、経済学者アダム・スミスを記念して建てたアダム・スミスビルディングで過ごしました。このときのお友達はグラスゴー大学でイギリス全体で組織しているアーカイブ協会の仕事もしていた先生で、先生のお世話でイギリス各地の図書館や資料館を訪ねて勉強することができました。帰国後にもイングランドやウエールズの大学や図書館、資料館で調査をするときに紹介状を書いてくれたり、担当するアーキビストに連絡を取ってくれたりして私の仕事を援助してくれました。こうした経験が日本やドイツでの大学図書館や資料館での勉強に役立ちました。いまだにこのときの先生のお世話になっています。留学生の皆さんも、日本人のお友達をたくさんつくることをお勧めします。

平成21年5月1日現在の日本学生支援機構の調べによりますと、日本に留学されている132,720人の26.6%が大学院、50.5%が大学・短大・高専、21%が専修学校、2%が準備教育課程に在籍されています。日本の大学では異文化を学び、相互に理解することが求められていますし、外国語のコミュニケーション能力を高めることも身につけるべき学士力の一つとして重視されて

います。日本に留学されている皆さんの出身を地域別に見るとアジア92.3%、欧州3%、アメリカ2%、アフリカ0.9%、中南米0.8%、中近東0.7%、オセアニア0.4%で、アジアの中でも中国59.5%、韓国14.7%とダントツに多くの留学生が学んでいます。中国文化、韓国文化、日本文化を相互に居ながらにして学び、理解を深めることができる又とない機会であると思います。韓国のイー・オリヨン（季御寧）先生は中国・韓国・日本の東アジアの共通文化として漢字文化をあげ、この文化の融合を主張しています。例えば「工夫」の意味は中国では「ひま」、韓国は「勉強」、日本は「考える、教える」であることから、相互に主張するのではなく、歩み寄ることによって互いに一体感が生まれ、文明を発展させることができると云うものです。

アメリカのサミュエル・ハンチントン先生は『文明の衝突と21世紀の日本』で、文明は文化の集合体で、文化は言語、歴史、宗教、生活慣習、社会制度などの共通した客観的要素と人々の主観的自己認識の両方から構成されるものであると定義しております。日本は文明の観点から見ると、他のどの国とも文明的な密接な関係を持っていないところの、つまり文明を家族と捉えると、日本は家族を持たない文明国、孤立国家であると述べています。この考えは西欧文明から見たときは家族を持たない文明国といえるかも知れないけれども、イー・オリヨン先生がいうように、共通の漢字文化を持つ中国も韓国も東洋文明から見ると日本の家族ではないか、と思えるのだがどうだろうか。しかし、ハンチントン先生は他方では今日の世界は多文明世界であって、このような世界での建設的な行き方は普遍主義を放棄して多様性を受け入れ、共通性を追求することであると述べています。

岩手の歴史、宗教、生活慣習、社会制度などの見聞を広め、日本の文化に対する理解を深め、互いの国の多様性を認め、共通性についての相互理解を発展させることを期待します。

# 平成22年度 岩手県留学生交流推進協議会報告

## 岩手県留学生交流推進協議会総会

平成22年11月17日（水）午後2時から岩手大学学生センターB棟多目的室で総会を行いました。始めに会長の藤井克己岩手大学長から挨拶があり、会長の議事進行で本協議会の運営や今年度の事業計画について審議いたしました。また、今年度の構成団体の地域交流等実施計画や平成22年5月1日現在の各高等教育機関に在籍する外国人留学生数等について報告がありました。

議事終了後には本協議会や留学生支援に関して意見交換をおこないました。



## 公開座談会・交流懇談会



総会終了後、午後3時30分から岩手大学学生センターB棟GB11講義室で「外国人留学生による公開座談会“キャンパスライフ in いわて”」を行いました。岩手県立大学、富士大学、一関工業高等専門学校、岩手大学からの外国人留学生が各1名、進行として岩手大学の外国人留学生2名、計6名の外国人留学生が参加しました。

80名ほどの聴衆の前で、外国人留学生の進行のもと、岩手県の第一印象や日本に留学して良かったこと、成長したと思うこと、将来の夢などについて意見交換を行いました。

聴衆からのアンケートでは、留学生が司会進行を担当して新鮮だった、向上心を持って日本に来ている留学生から刺激を受けた、これからも継続し、もっと多くの人に聞いて欲しい等の感想が寄せられました。

(座談会の内容は別ページに掲載しましたので、ご覧ください。)

公開座談会終了後には、学生中央食堂で懇親会が行われ、多数の外国人留学生、日本人学生や関係団体の方が参加し、留学生による歌やダンスも披露され、懇親を深めました。





【公開座談会発言者】



岩手県立大学大学院ソフトウェア  
情報学研究科博士前期1年  
**張 一可さん**  
チョウ イチカ (中国)



富士大学経済学部経営情報学科  
4年  
**李 海元さん**  
イ ヘオン (韓国)



一関工業高等専門学校  
物質化学工学科5年  
**UNURBAYAR UYANGAさん**  
ウヌルバヤル ウヤンガ (モンゴル)



岩手大学人文社会科学部  
法学・経済課程1年  
**ARIUNBOLD LKHAGVASURENさん**  
アリウンボルド ラオグスレン (モンゴル)



岩手大学教育学研究科  
教員研修留学生  
**ZULKARNAIN FAHMIさん**  
ズルカルナイン ファハミ (インドネシア)



岩手大学工学研究科フロンティア  
材料機能工学専攻博士前期1年  
**NGUYEN THANH NGHIAさん**  
グエン タイン ギア (ベトナム)

【進行】

最初に岩手県留学生交流推進協議会会長の藤井岩手大学長から挨拶がありました。その後、司会者、参加者の自己紹介の後、意見交換を行いました。

★ 岩手に留学したきっかけ、岩手の第一印象

【進行：ズルカルナイン ファハミ (以下、ファハミ)】

みなさんは岩手に留学生として来ているわけですが、どんなきっかけで岩手へ留学しましたか？そして、岩手の第一印象はいかがでしたか？

◆アリウンボルド ラオグスレン(以下、スレン)

私の卒業した高等学校は日本と強いつながりを持っています。日本式の高校と言われますが、卒業して日本留学試験を受け、日本の大学で直接受験できる許可をもらいました。受験する大学をパンフレットやインターネットでたくさん調べて、とうとう岩手大学の人文社会科学部の法学・経済課程を見つけました。その時、「この大学は自然がたくさんあるし、自分の専門を総合的に学べるので絶対入りたい。」と思い、実際にここに来ることができて本当に嬉しかったです。第一印象は、岩手にバスで来ましたが、バスの中から木や森ばかり見えて、思ったとおり自然がいっぱいで田舎だと思いました。でも生活して慣れてきて、都市の中をまわったり大通りなどに行ったりして、盛岡は案外都市なんじゃないかな、と思いました。

◆張 一可(以下、イチカ)

私の出身大学は大連交通大学というところで、岩手県立大学とは友好学校です。4年生の時に交換留学生として初めて岩手に参りました。その時も岩手県立大学ソフトウェア情報部に所属して、去年の7月ですね、その時大学院の試験を受験し、今年4月に進学しました。第一印象としては、みんなと同じで、静かすぎないかなと思いました。でも自然の風景はきれいですし、空気もすごくおいしいし、体にいいですね。田舎ですけど、実は暮らしやすいと思います。人もけっこう優しいので、いいところではないかなと思います。

◆李 海元(以下、ヘオン)

私は高校生の頃から、日本のドラマや人気アイドルが大好きで、日本に興味を持ちました。日本のドラマが好きでいっぱい観たりしていましたが、知り合いから岩手県の富士大を勧められて、入学しました。岩手の第一印象は、最初仙台空港から降りてバスで来たんですけど、

仙台の風景を見て「ここはいいなあ」と思ったんです。だんだん花巻に近づいてきたら、木と畑とカラスしかなくて…韓国ではカラスには悪い意味があって、日本にはどうしてこんなにいっぱいカラスがいるのか疑問に思いました。

そして花巻は本当にすごく寒かったです。最初、アパートに着いた時には、布団などないので友達と一緒に寝たんですけど、寒すぎて本当にびっくりしました。歯とか全部冷えて困ったというか、韓国人同士でもあまり仲がよくなかったけど、寒い中で一緒に寝たりして仲良くなって、そのきっかけで親しくなったので、寒さにありがたい気持ちになりました。

◆ウヌルバヤル ウヤンガ(以下、ウヤンガ)

私は高校時代から留学しようと思っていて、日本の文部科学省の試験を受けて、合格し、日本に留学することになりました。岩手に来る前に一年間東京に住んでいて、そこで日本語を習いました。そして一関工業高等専門学校に進学することになりました。日本の第一印象は、日本語学校にいたときは、本当に勉強にあまり興味が持たなくて日本人の作った遊園地とかショッピングとかきれいで、遊んでばかりいたんですが、高専に入ってからには本当に日本人と交わって日本文化を学び始めました。岩手の印象というと、日本人を知り始めたところなので、岩手の人は日本人の代表ですね、私にとっては。岩手は寒いとよく言われていますが、モンゴルはもっと寒いので季節とかは大丈夫だった。でも梅雨はやっぱり大変だった。湿度は高く、どこへ行ったらいいかわからなくなった時もありました。

【進行：ファハミ】

どうもありがとうございました。印象のお話がすごく面白かったですね。留学生はみんな同じだと思いますが、岩手県は寒いところですけど、勉強の力とか出てきてすごくいいと思いますね。岩手県の人たちはすごく愛情が深いですね、いろいろな経験があって面白いですね。では続きまして、学校生活で授業やサークル活動などを力を入れていること、頑張っていることはどんなことでしょうか？



★ 学校生活で授業やサークル活動などで力を入れていること、頑張っていること

◆スレン

今はまだ1年生なのですが、専門課程科目からもう4つ、5つ取ってしまいましたが、授業に出てみて、けっこう難しいなと感じています。最初は全然聞き取れなくて、分からないことばかり出てきて、ちょっと大変だったけど、家に帰ってから復習したり日本人の友だちから教えてもらったりして、なんとかできています。サークル活動については、今所属しているサークルが2つあります。入学したばかりの時、シドロモドロというダンスサークルに入って、後期からは合気道に興味があって入りました。3~4回しか行っていないけど、日本の文化の一つである合気道を体験してみて本当によかったと思います。これからも頑張ります。

◆イチカ

私としては多分、人々との交流ですね。私は県立大学のグイップというサークルに所属していて、これは留学生と日本人が交流するサークルです。たとえば大学祭の時、水餃子を売ったり、時間があれば焼肉をしたりといろいろな楽しい時間を過ごしてきました。力を入れたことではないですけど、コミュニケーションが一番力を入れたと言えると思いますね。

◆ヘオン

1年生の時には、日本語なども聞き取れないので、日本食をいっぱい食べて文化を知ろうって思いまして、いっぱい食べることでばかりしたので、その時10キロも増えました。それが一番困ったことです。2年生と3年生の時には、いろいろ勉強しないといけないから資格取得のために一生懸命勉強したり、日本文化を知るために旅行もしました。

4年生の今は授業もいつも通り頑張っているし、この前に座っている4人と一緒に韓国のダンスを運動として一生懸命習ったんですけど、富士大学の学園祭の時にみんなと踊りました。KARAっていうグループなんですけど、すごく盛り上がって気持ちがよかったです。そのきっかけは、そろそろ卒業なので友達や先生たちに恩返しするために踊りましたが、すごく嬉しかったです。この後の懇談会では5人で踊りますので、ぜひご参加ください。

◆ウヤンガ

高専に入ってからバスケット部に入っていたんですけ

ど、毎日練習しなければならないし、ちょっと実力も足りないの、また忙しかったので途中で辞めました。今は、卒業するので、卒研に力を入れようと思って勉強を頑張っています。フリータイムは登山したり、旅行したり友達と遊んだりしています。最後に登った山は筑波山で、また沖縄も行ってきました。来年くらいには京都に行こうと思っています。一関高専には茶道部がありますが、まだ入っていません。来年大学に進学するんですけど、大学に入ったら茶道部に入りたいと思っています。また、学校で生け花もするんですが、自分で生けた花がきれいに見えると嬉しくて写真を撮ったりして、いいと思います。みんなも時間があれば生け花もやってみてください。

【進行:グエン タイン ギア(以下、ギア)】

ありがとうございました。僕はみなさんのお話を聞いて、すごく充実した毎日を送っているなあという印象を持ちました。僕は岩手大学で水泳部に入っていて、ちょうど今は冬なので県立大のプールを借りて練習をさせていただいています。最近は忙しくてあまり部活には参加できないんですけど、やはりそういう部活とかサークルに入って活動すると、学校の授業では学べないことも、同じ世代の日本人と接するわけだから日本のことが分かるし、日本での生活も楽しくなるんじゃないかなと実感しています。

次は、学校以外の生活で良かったこと、困ったことがあったら教えてください。

★ 学校以外の生活で良かったこと、困ったこと

◆スレン

岩手に来てみて、ほとんどの学生が自転車に乗って学校に行くんだけど、私は最初自転車に乗れなくて落ちたり飛んだりして、困りました。うまく乗っているおじいちゃんとかおばあちゃんを見てすごく驚きました。本当に面白かったです。モンゴルでは自転車に乗る習慣はほとんどないという感じで、でも、今は乗れるようになりました。

良かった点は、言葉の大切さがわかりました。今までいろいろな人と出会って、たくさん話をしてきたんですけど、コミュニケーションをとるときに自分の思ったことを言葉で表して伝えるのは、すごく難しいと感じました。困ったことは思い出したくないけど、海外留学するときにカルチャーショックになったり寂しくなったり、いろいろ困ったことがあったんですけど、同じ留学生の友達や先輩方、担任の先生などに支えられてきて楽しい生活を送っています。いつも留学生を応援している岩手大学の国際課にも感謝しています。

◆イチカ

私としては、良かった点は留学生たちと一緒に過ごすことです。語学、日本語は中国にいた時よりよくなるということですね。そして文化体験もたくさんしました。それは日本文化だけではなくて、うちの研究室の准教授はインド人で、講師はマダガスカル人で、研究室でも異文化を体験しました。これは良かった点だと思います。困った点は、県立大は滝沢村にありますね、それは買い物には不便だと思います。おととしの年末に村の市場という



のが一時的に倒産しました。その時はけっこう困りました。でも去年また再開して少し便利になってきました。それは困った点から良い点に変わりました。

#### ◆ヘオン

私が日本を好きな理由は、伝統をそのまま伝えられているのが一番好きでした。私は2年生の時に成人を迎えたんですけど、(韓国では)酒を飲んだり荒れて終わるんですけど、日本は着物を着て写真を撮ったりする文化は大好きです。その文化はそのまま続いていくから、私はここで花巻の祭りや盛岡のさんさ踊り、そしてちゃぐちゃぐ馬っことなど、いろいろ経験ができてよかったと思います。

困ったときは、岩手ではいっぱい雪が降るので、私は自動車もないし、いつも自転車で通っていますので、いっぱい降るとどこにも行けない状況になって、大きいスーパーマーケットで買い物するときに歩いて行ってきて、あれが一番大変でした。

#### ◆ウヤンガ

私の日本人の一番好きなのは、何かあるとみんなで動く、一人も残らないで全員行くとか、そういうのが好きですね。そして日本人は信用できるというか、自分たちで責任を重く持つので、言ったことを信じていい感じがします。モンゴル人はそんなに嘘つきではないけど、いったん言ったことを忘れてしまうことがあるのですが、日本人はそういうことがないので一番好きですね。

困ったことは、今から1年半前のこと、アパートを借りるとき、保証人がいないと借りられないと言われて保証人を探していました。私たちは父母がいなかったりして保証人がいないですよ。その時、先生にレオパレスというアパートを紹介してもらって、保証人をつけなくても大丈夫、連絡先だけあればいいと言われて、ここにもいらっしゃいますが、学校の先生が連絡先になってくれてアパートに住むようになりました。それが一番困ったときですね。

#### 【進行：ギア】

私の場合は、今勉強しているのは工学なので最先端の技術に触れることができ、そういう点はすごくよかったなと思っています。さっきもお話にあったんですが、いろんな国の人たちと触れることができ自分の考え、自分の自国ベトナムにいるときと変わって、違う視点から見る事ができて、よかったと思います。

困ったことは、やはり岩手の冬はすごく大変で、ベトナムはまず雪がないということで最初の冬はすごく大変でしたね。道も凍っていて、盛岡とかだと水抜きをしなきゃいけないんですね。忘れてしまうと次の日はもう大変で、一回学校を休んだんですね、水抜きを忘れて次の日、水が出なくて。そういう困ったこともあるんですけど、今思い返すとそういうことも思い出なんじゃないかと僕は思います。ファハミさんは？

#### 【進行：ファハミ】

インドネシアは暖かい国だから雪は全然ありません。だから(盛岡は)すごく寒いんです。去年まで国際交流会館に住んでいて、雪が降っているときはずっと暖房の前に座っていました。

大変なことは、私が忘れっぽくて、ヒーターが朝までついてたことを全然気がつかずに、(光熱費が)一ヶ

月がすごく高くてびっくりしました。9千円。中国人の友達から「ファハミ、今月はいくらですか?」と聞かれて9千円と言ったら、「何をそんなに使ったの?」とびっくりされました。ショックだったのが、私は毎月髪を切りますが、理容店に行くとびっくりしました。値段が一番安いので1,500円です。インドネシアだったら50円。だからもったいない、どうしようと思いました。日本は物価が高いです、インドネシアより高いです、それが困ったことです。

よかったことは、文化が好きです。日本語で書いてある本の写真とか説明とか、意味はわかりませんが・・・金閣寺とか日本独特のものは、直接見られてすごく良かったです。春休みに京都旅行へ行って、金閣寺が本当に金色ですね、本でなく、本当に見られて良かったです。

#### 【進行：ギア】

ちなみに僕、1,000円で髪切れるところ知っています(笑)

次に、日本に留学して良かったこと、それぞれの国にいたときより成長したと思うことについて教えてください。

### ★ 日本に留学して良かったこと、成長したと思うこと

#### ◆スレン

私の母国であるモンゴルでは、留学生は少ないですね。日本留学を通して、日本人だけではなくいろんな外国人と出会って交流できたことはよかったと思います。より国際化した環境の中で勉強できているということですね。自分でどんなところが成長したかという、やっぱり自立心が強くなったかなと思います。家族と離れて一人で暮らしてみても、お金の大切さとか、前は気づいていなかったことに気づいて、本当によかったです。また、日本という優れた国の中で生活して、母国をこのように発展させようという希望が強くなったのが一番よかった点ですね。

#### ◆イチカ

よいことは、成長したことだと思います。たとえば、中国にいたときは、大学時代はみんな寮に住んでいて、1つの部屋には6人もしくは8人住んでいました。そのときは、何かあったらみんなで助け合ったり相談したりしましたが、日本に来てからは一人で解決しなければならないので、自分の解決力もけっこう大きくなったと思います。

そして日本へ来るまでは料理は全然できませんでし





た。(日本に)来る2日前に母がトマトと卵の炒め物を教えてくれました。今はシェフほどではないですが、だいぶ上手になってきました。これは成長したといってもいいことだと思います。

◆ヘオン

私は日本の料理に慣れたことです。そしていろいろな思い出を作ったことや旅行を通じて視野が広がったこともよかったし、なにより日本人の親切が一番よかったと思います。そして私はここに来て考えたのは、何も考えずに一生懸命やれば幸運がついてくる、その意味を感じました。ここに来て私が成長したなと思ったのは、前向きな性格になって、その点は成長したなと思いました。

◆ウヤンガ

私はモンゴルから来たから、友達作るののが苦手でモンゴル人の友達しかいなかったんですけど、日本語学校に通っていて他の国々の人たちと話をしたりして友達ができたことです。今若い黒人の友達がいっぱいいます。高専に留学してから、私の視野は広がったと思います。

【進行：ギア】

ありがとうございます。私の場合はメイドインジャパンに憧れて日本に留学したわけですから日本の工学を勉強できたことはすごくよかったと思います。今のよう勉強できることはベトナムでも役に立つと思うし、自分の知識とかもいろいろ吸収できたと思います。

成長したことは、留学していますから他の日本人はもちろん、インドネシアのファハミさんとかモンゴルからの人とか、他の国の留学生と一緒に勉強して、いろんなことを一緒にしたりして、自分の視野とかコミュニケーション能力とかすごく上がったんじゃないかなと実感しています。ファハミさんはそのへんどう思いますか？

【進行：ファハミ】

私はここ岩手大学に来てよかったと思っています。なぜかという、モンゴルのウヤンガさんが言っていたように、いろいろな国の人と出会うことができてすごく嬉しいです。先月、アフガニスタンの人と友達になれました。思ってもいませんでした。先々週はマダガスカルの人。いろいろな国の人と出会えてよかったです。成長というか、コミュニケーション、インドネシアではあまりチャンスがなかった様ないい文化と出会い、自分のことばかり考えるのではないということですね。

続いては、留学が終わった後の将来や夢についてお話してください。

★ 留学が終わった後の将来や夢について

◆スレン

4年間大学で勉強して卒業した後は帰国するつもりです。もしもう少し勉強したいかと思ったら、大学院に進学するかもしれません。今は法学と経済を同時に勉強しているんだけど、経済学に興味がありますので2年次からは経済課程に進むつもりです。将来は金融とか財政についてもっと深く研究して、金融業界で活躍していきたいです。

◆イチカ

私としては、今就職活動をしたいと思います。2012年卒業予定で就職活動が始まったばかりですが、将来は日本のいい企業に入りたいなと思います。夢は普通の生活を送りたいなと思います。

◆ヘオン

私は日本に来て、夢がいっぱい変わりました。今現在は航空会社に入って地上職として勤めたいと思います。今後、日本人が韓国に旅行するときに、韓国の航空会社を利用する人たちが増えていますので、そういう日本人の方々の手助けになりたいと思っています。韓国に帰って2ヶ月塾に入って資格を取って、日本の羽田空港やインチョン空港などいろいろな空港に入りたいと思います。

◆ウヤンガ

私も留学が終わったら帰国しようと思っています。留学(体験)を生かし、自分の興味のある仕事に就き、そこで頑張っていきたいと思っています。また、仕事のフリー時間で子どもの先生などをしたいと思っています。やりたいこといっぱいありますね、歳をとってからは小さい病院をやりたいです。いろいろ考えているんですけど、今は自分の成長のために、よい教育を受けて役に立つ人になりたいなと思っています。

【進行：ファハミ】

ありがとうございます。夢がかないますように。

私だったら、将来仕事をしたいと思いますが、インドネシアでは日本語を勉強する人がだんだん増えてきています。学校でも勉強しましたが、漢字は全然読めません、しかも文法が難しいです。たくさん日本語についてのいい本はあります。でも残念ながら漢字を読める人は少ないです。ですから、その本を翻訳できたら、インドネシアと日本にとってよいと思います。私は漢字を頑張ります。ギアさんはどうですか？

【進行：ギア】

そうですね、ファハミさんの話にも出たんですけど、日本の本や漫画を翻訳することによって、日本の文化がインドネシアだけでなくいろんな国で読んでもらって普及していく。私自身も小さい時は「ドラえもん」を読んで日本のことを知りました。それだけではないんですが、やはり日本の漫画は有名ですからね。私の将来は今の知識を生かして、ベトナムと関係ある日本の会社で働いて、少しでも貢献というか役に立てたらいいなと思っています。

これまでいろんないい話を聞かせていただきました。みなさんそれぞれ、生活で困ったこととか、いいこととかいっぱいあると思います。これから将来の夢とかに、ぜひ頑張っていたきたいと思っています。



# 留学生紹介

## 日本の留学生活と心得

李 雪佳 (リ セツカ) (中国)

岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科2年



皆さん、はじめまして、私は李雪佳と申します。出身地は中国の福建省です。中国のお茶に興味がある方はご存知かもしれませんが、「鉄観音」というウーロン茶は福建省の特産です。

私は小さい頃から、よく日本のアニメーションを見て、日本に興味を持っていました。大学に進学してから、私はソフトウェアを専攻してきました。日本のソフトウェア技術は世界をリードしていると聞いたため、私の日本に対する気持ちが強くなりました。岩手県立大学が出身校の大連交通大学と姉妹協定を結び、交換留学という制度があると聞き、私は1年間の交換留学のチャンスをつかみ、日本へ行く夢が実現できました。岩手県立大学ソフトウェア情報学部で、先生のご指導のもと、豊かな専門知識を習得しました。そして、友達と一緒に茶道や、插花や、さんさ踊りなど様々な日本文化を体験しました。岩手県で1年間楽しい留学生生活を過ごし、もっと日本で勉強したいと思ひ、母国の大学を卒業後、岩手県立大学大学院に

進学しました。今は岩手県立大学大学院のソフトウェア情報学研究科の2年生です。日本に来て、はや3年になりました。

専門は日本語ではありませんが、どうやって日本語を勉強したのかと聞きたい方がいるかもしれませんね。実は、大学では日常生活で使う日本語を教えますが、私は日本語に興味があるため、自分で日本語の教科書を読んで文法を勉強し、単語を覚えました。そして、時間を見つけては大学の日本人の先生と会話練習に励みました。交換留学中も日々日本語を勉強し、充実な毎日を過しました。2年間日本語を勉強して日本語能力試験1級に合格しました。目標と興味があれば、何でもやりやすいと思っています。皆さんも一緒にがんばっていきましょうね。

私の座右の銘は「人生はすべて実験である。失敗したら、もう一回挑戦すればいい。」です。人間は生まれたときには、何も分からないです。あらゆる身につけたことは人生の実験から得たのです。実験が失敗したら、また挑戦すればいいです。失敗してもそこから得た知恵を活用して成功に近づくことができます。偉大なエジソンでも多くの失敗の経験があり、最後に成功しました。

今年、私は大学院を修了し、東京で就職する予定です。社会人になっても色々なことがあると思いますが、私はこれからもっと沢山人生の実験をして、失敗と成功を重ねて人生を歩いていきたいと思ひます。

# 留学生紹介

## 初めて日本に来た時



金賢智 (キム ヒョンジ) (韓国)  
富士大学経済学部経営法学科1年

皆さん、始めまして、私は韓国から来ました。私が日本に来てからもう10ヶ月になりました。

私は、富士大学で経済学部経営法学科で勉強しています。

初めて日本へ来た時は、日本の文化とか食べ物などが韓国と違うことがすごくありました。

今は、だんだん慣れてきて、大丈夫ですが、その時は本当に大変でした。私は寮に住んでいます。毎日私が料理を作って食べます。それで毎週スーパーに行って買い物をします。

日本に来る前に、日本の留学生生活について、良く分からなかったのが、韓国のおかずとか簡単な食べ物を持って来なかったです。それで食べ物が全然なかったですが、一緒に来た友達が韓国の海苔とコチュジャンを持って来て、それで2週間食べていました。その時は、スーパーに行っても何を買って食べるか、何を買って料理ができるか良く分かりませんでした。今は日本の料理も良く食べるようになりました。

初めて日本に来た後、3ヶ月ぐらいは、韓国が

懐かしすぎて毎日毎日泣きました。

“日本もいやだ”、“勉強もいやだ”と思いました。韓国にいる家族と友達に会いたくて、韓国に帰りたいと思いました。ある日ふっと、こんなに意味ない生活は、私に何の役にも立たないと思いました。今、私に一番重要なことは、日本の生活に早くなれて、もっとも意味ある生活をしなければならぬと思ひ、また初心に戻って小さな目標から一つずつ実践しています。

私の性格は活発でもあるが小心な面もあります。それで、人々の前に出るのが恥ずかしいですが、学校の行事に積極的に参加して、留学生活をもっと豊かにしたいです。

まだ、日本語は上手ではないので、一生懸命勉強しようと思っています。

言葉だけ一生懸命に表すのではなく、行動で見せてくれる人になりたいと思います。

皆さん、よろしくお願ひいたします。^^\*



# 留学生紹介

## 「カナダ人から見る日本のテクノロジー」

Elizabeth Marsall (エリザベス マーサル) (カナダ)

盛岡大学 (姉妹校カモーンソン大学からの交換留学生)



こんにちはみなさん！私の名前はリズです。カナダのビクトリアから来ました。はじめまして！

今、盛岡大学で日本語を勉強しています。毎日、たくさんのきょうみぶかい人に会って、新しいことをまなんでいます。だから、盛岡市の生活はとても楽しいです。日本に来てから、たくさんの素晴らしいテクノロジーを見ました。私はこれらはっけんを、みなさんにつたえたいと思います。

### ◇トイレ

始めに、トイレについて話しましょう！日本にいった時、トイレに行きたくなりました。だから、さいしょに見た素晴らしいテクノロジーはトイレでした。カナダのトイレはシンプルなので、とてもびっくりしました。カナダではトイレはどこにいてもシンプルです。しかし、日本にはシンプルなトイレとウォシュレットつきのトイレがあります。日本で初めて使った時、たくさんのボタンがあるの見て、困りました。しかし、今はそのテクノロジーにかんしゃしています。

### ◇じどうはんばいき

次に私がで会った素晴らしいテクノロジーは、じどうはんばいきでした。ビクトリアのじどうは

んばいきでは、飲み物とおかしだけが売られています。しかし、日本にはさまざまなじどうはんばいきがあります。初めて見たじどうはんばいきでは、飲み物が売られていました。その時から、私はカップラーメンや、たばこや、ハブラシのじどうはんばいきを見ました。また、日本のじどうはんばいきは、あたたかい飲み物とつめたい飲み物をいっしょに売ってます。日本のじどうはんばいきは便利です。ビクトリアもいつかこれらのような、じどうはんばいきがつくられてほしいと思います。

### ◇けいたい電話

そのたのすばらしいテクノロジーの例は、けいたい電話です。カナダのけいたいと日本のけいたいはとてもちがいます。たとえば、日本のけいたいのせきがいせんそうじゅしんきのうはいっぱんてきて、また便利です。このきのうは、じょうほうを人々ときょうゆうするのをかんたんに行っています。しかし、カナダで私はこのきのうを見たことがありません。また、日本のけいたいには、バーコードリーダーとテレビのきのうがあります。さいきんでは、カナダでもテレビきのうのついたけいたいを見ることがあります。しかし、カナダにとってこのきのうは、まだ新しいものなので、あまりふきゅうしていません。私は日本のカメラつきけいたいが好きです。けいたいの写真のキレのよさとせんめいさには、いつもおどろかされます。たとえロックオリエティーのものでも、カナダのふつうのけいたいよりいい写真をとることができます。そのため、日本のけいたいは便利でつかいやすいので気に入っています。

日本のテクノロジーは、いつも私をおどろかせます。私は、さらなるすばらしいはっけんができることを、きたいしています。

# 留学生紹介

## 留学生から見た授業風景

UNURBAYAR UYANGA (ウヌルバヤル ウヤンガ) (モンゴル)  
一関工業高等専門学校 物質化学工学科5年



(左から3番目が筆者)

モンゴルから来ました。ウヤンガと申します。一関工業高等専門学校物質化学工学科5年生です。

一関高専に来る前に東京日本語学校で一年間日本語の勉強をしました。東京のにぎやかな街、時間どおりに来る電車、サービスなどは素晴らしいと思いました。

東京日本語学校で、はじめて世界の国々の人々と出会いました。アラビア、タイ、ロシア、ブラジルなど様々な国からの留学生と出会って友達になりました。最初は皆、日本語をあまり知らなかったのが話するのが難しかったです。でも外国人と話するのが面白いので頑張っていました。授業で教わったことを直ぐに体験として友達と話せるし日本語を楽しんで習いました。

そして、一年後岩手の一関高専にやって来ました。わりと静かで勉強できるいい環境でした。大

学と違って高専の授業は38人の同級生とクラスで勉強しています。母国の授業と異なってあまり自由ではありませんでした。知っていても知らなくても先生の質問に逃げる人が多いです。何故か今もわかりません。また、休憩時にはモンゴルの学生はうるさくしたりしますが、日本人の同級生は皆、寝ようとします。今は私もやるけど……。フッフ

授業について最初は知らない漢字や言葉がたくさんあって難しかったです。先生方や、クラスメートに聞いてだんだん分かってきました。好きな科目は実験です。高専を卒業してから大学に編入します。将来は大学卒業後モンゴルへ帰国して化学工学の分野で働きたいと思っています。



# 留学生紹介

## 岩手へ感謝

VU THI THU HUONG (ヴー ティ トゥ フーン)(ベトナム)

岩手大学工学部応用化学科4年



私は今年の4月から、大学を卒業し、岩手を離れます。今私は様々な気持ちをもっています。早く卒業し社会人になりたい気持ちともうちょっと岩手に残りたい気持ちも同時に存在します。

私はベトナムの北部から来ました。名前はヴー ティ トゥ フーンです。ベトナム語には今漢字が使われませんが、私の名前を漢字に置き換えると雨氏秋桃になります。なので、日本人の友達によく「ももちゃん」と呼ばれたこともあります。

私は日本に来てから、6年目になり、ずっと岩手に住んでいます。この5年間で勉強、アルバイト、友達は私を大きく成長させました。岩手での生活は私の人生を大きく変えたと思います。それで私は岩手が自分の第二ふるさとのように思っています。

後2ヶ月で私は大学を卒業し、今までの私の人生の最大な夢が実現されます。これだけ考えると私はどんなにか幸せです。自分がここまで頑張れたことが岩手のたくさんの方々の支えがあったからだと思います。岩手を離れる前に岩手の皆さんに「感謝」の気持ちを伝えたいと思います。

私は岩手大学に入学する前に盛岡情報ビジネス専門学校日本語学科で日本語を1年半勉強しまし

た。その1年半は私の日本留学の道で一番大変な時間だと感じました。日本語があまり出来なかった私たちに日本語の先生方にアルバイト先を見つけてくれました。また、日本文化にもまだ慣れなかった私達が足音や話す声が大きかったため、近所の皆さんから苦情もありました。それらのトラブルなどを解決してくれた先生方に大変ご迷惑をかけました。先生、ありがとう。そして、ご近所の皆さん、ありがとう。そのおかげで私達はいいい経験が出来、日本文化が段々理解できるようになっています。

一年半で盛岡市の人々の暖かい心と豊かな自然があり、きっと勉強にいい環境だと感じ、岩手大学に入学することを決めました。岩手大学に入学した後、私は日本人学生の勉強だけでなく、スポーツや国際交流活動、ボランティア活動などにも積極的に参加している姿に強い印象を受けました。岩手大学で留学生のためにたくさんの待遇制度があります。例えば、チューター制度です。チューターとは留学生の勉強と生活をサポートしてくれる先輩のことです。私も大学の1年と2年生にチューターをつけてもらいました。そのおかげで、勉強面でいろいろな相談ができ、大変助かりました。そればかりでなく、チューターの先輩に茶道などの日本文化をたくさん体験させてもらい、一緒に秋田県で日本最大の花火大会で絶景な花火を見ることができ、満足です。チューターの先輩、ありがとう。そして、岩手大学の先生方々、岩手大学のスタッフの皆さん、ありがとう。4年間、私は充実した大学生活を過ごすことが出来ました。

私はこれから社会人になりますが、仕事に頑張ります。岩手にはいなくなるかもしれませんが、私の心に岩手が永遠に存在します。岩手に感謝します。そして岩手の皆さん、私を忘れないでください。

# 交流レポート

## 盛岡市教育委員会とアーラム大学の教育交流

— 今年度38年目を迎えている、歴史ある教育交流について紹介します —

### 1. アーラム大学

アメリカ合衆国インディアナ州リッチモンド市（人口4万人弱）に1847年に創立された、クエーカー教を母体としたリベラルアーツ（一般教養）系私立単科大学です。すぐれた日本研究で全米に広く知られています。



### 2. SICE（サイズ）プログラム = Studies in Cross-Cultural Education = 異文化教育交流



アーラム大学は、人類平和を願うクエーカー精神に基づき、各国の文化を学び理解し合うことが大切との考えから、様々な国での研修プログラムがあります。日本でのサイズプログラムは、1960年代東洋文化の持つ卓越性に学ぼうとして生まれたそうです。古くから早稲田大学とは教授交換等協力関係があり、このプログラムの開設にあたって学生を受け入れてくれる地方都市の斡旋を依頼しに当時のアーラム大学学長が早稲田大学の総長を訪れました。

その際、偶然居合わせた故・岩手県知事 千田 正氏の「岩手県で」の一言がきっかけとなり、1973年からSICE留学生を県内で受入れ、1979年からは盛岡市教育委員会に移管し、今日に至っています。

現在も、盛岡市には毎年10名前後のSICE留学生が、8月から12月までの約4か月間訪れています。市内でホームステイをしながら、週の半分は中学校でALT的な役割をして日本の教育制度を体感、半分は岩手大学で日本語を学んだり、引率教官の講義を受けたりします。

なお、SICEプログラムのホストファミリー会（Eクラブ）には、アーラム大学の卒業式に渡米して参加する方もいます。様々な形で、個人の交流が長く続いているのがSICEプログラムの特徴です。

### 3. 外国人英語指導講師招へい(M-ALTプログラム)

SICEプログラムをきっかけに、1981年（JETプログラムが始まる前）、アーラム大学の募集・選考による岩手県へのALT派遣が始まりました。盛岡市ではこの交流を大切に、現在もアーラム大学の募集・選考によるALTを市で独自に採用しています。志願者はSICEプログラムの経験者が多く、盛岡の土地勘もあり、何よりも「盛岡にまた来たい」という意欲にあふれています。ALTとして来盛した後も、留学生時のホストファミリーと交流が続いています。

### 4. 盛岡 — インディアナ州交流派遣研修

SICEプログラムの交換事業として、盛岡市教委では、10月末～11月始めの約2週間、市立中・高生、市内英語科教員をインディアナ州に派遣しています。派遣団は、アーラム大学と交流が深いコナーズビル高校での授業体験とホームステイ、アーラム大学日本研究所への表敬訪問等を行っています。



## 地域交流等実施計画（平成22年度）

機関・団体名	事業・行事名称	開催時期	場 所	概 要 等
岩手県留学生交流推進協議会	外国人留学生と日本人学生の公開座談会	H22.11.17	岩手大学	一般公開で外国人留学生がテーマについてそれぞれの視点から意見を交わし、参加者のみならず地域住民も含めて相互理解を深める
	交流懇談会	H22.11.17	岩手大学	岩手県内に在学する外国人留学生相互の交流・親睦と日本人学生及び地域の交流団体と連携し交流する
岩手大学	留学生オリエンテーション	H22.4.9 H22.10	岩手大学	留学生及びチューターを対象として、勉学・生活等についてオリエンテーションを実施
	日本の伝統文化着物「着付け体験」	H22.6.16 H22.11.9	岩手大学	留学生に日本文化の1つとしての着物体験
	ガーデンパーティー	H.22.6.5	岩手大学国際交流会館	留学生が主催して、地域の住民を招待し、それぞれの国の料理を提供して交流する
	北東北3大学合同外国人留学生実地研修	H22.12 (1泊2日)	岩手大学	岩手・青森・秋田の国立大学で学ぶ留学生等が集まり、研修会を行い、お互いの留学生生活等について議論する
	盛岡さんさ踊り参加	H22.8	盛岡市内	地域の伝統文化行事に留学生が参加し、市民との交流を図る
	外国人留学生実地見学旅行	H22.9	北海道	岩手大学に学ぶ外国人留学生が我が国の文化に実際に触れることにより日本への理解を深める
	外国人留学生スキー研修	H23.1 (2泊3日)	安比高原スキー場	スキーを通じて雪国である岩手の冬に親しみ、留学生相互、並びに教職員との交流
	外国人留学生と学長等との懇談会	H23.3	岩手大学	学長、副学長等と留学生が、教育・研究や住居・奨学金、また大学への要望等について意見交換する
	留学生卒業・修了生懇談会	H22.3	岩手大学	岩手大学を卒業・修了する留学生と関係教員・交流団体等との交流
岩手県立大学	外国人留学生オリエンテーション及び意見交換会	H22.4.21	岩手県立大学	留学生の学生生活に関する説明会
	留学生歓迎会	H22.4.28	岩手県立大学	新入学留学生と在学留学生、教職員、日本人学生との交流会（約30名参加）
	夏季国際交流バスツアー	H22.7.17	宮古市浄土ヶ浜	留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を知ってもらう機会を提供（約30名参加）
	滝沢村村民登山	H22.7.30	岩手山	登山及びバーベキューを通して村民との交流を図る（本学参加者38名 うち留学生1名）
	大学祭	H22.10.23～ H22.10.24	岩手県立大学	岩手県立大学大学祭
	秋季国際交流バスツアー	H22.11月頃 (予定)		留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を知ってもらう機会を提供
	冬季国際交流バスツアー	H23.1月頃 (予定)		留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を知ってもらう機会を提供
盛岡大学	盛岡大学言語教育研究委員会 (MODIL) 言語教育ワークショップ	未定	盛岡大学図書館学習室	「言語」をキーワードに多様なジャンルから講師を招き、話題提供や実習を行う
	盛岡大学言語教育研究委員会 (MODIL) 国際学術フォーラム	H22.12月初旬 (予定)	盛岡大学 A205教室	世界の文化的・社会的な動きを最近の言語研究から読み解く
	盛岡大学言語教育研究委員会 (MODIL) チャットタイム	後期	盛岡大学	英語母語話者と20分程度会話し、英語での会話力を鍛える
	盛岡大学言語教育研究委員会 (MODIL) 集中英語デー	①夏季(7/17) ②冬季(未定)	盛岡大学	英語母語話者を交えて、午前は発音クリニック等、午後は英会話実践のアクティビティを行う
	盛岡大学学生国際交流委員会 (MIEC) わんこそば大会	H22.9月下旬	東屋	交換留学生の歓迎会として、盛岡名物わんこそばを体験する

# 留学生関係資料

機関・団体名	事業・行事名称	開催時期	場 所	概 要 等
盛岡大学	盛岡大学学生国際交流委員会 (MIEC) 聖陵祭国際交流イベント『SAMPO』	H22.10.9～10 盛岡大学聖陵祭期間中	滝沢森林公園	盛岡近郊に住む留学生や外国人を募り、学生や一般の方々との交流を目的としたウォークラリーを行う
	盛岡大学学生国際交流委員会 (MIEC) ハロウィンパーティー	H22.10 下旬	盛岡大学 セミナーハウス	盛岡近郊に住む留学生や外国人を呼び、ハロウィンパーティーをする
久慈市	フランクリン市姉妹都市締結50周年記念事業	H22.9.30～ H22.10.9(予定)	アメリカ合衆国 インディアナ州フランクリン市ほか	訪問団の派遣 (調印式、市民交流、ホームステイ)
盛岡市 (財団法人盛岡国際交流協会)	国際理解講座	H22.7.25 H22.11.7	プラザおでって 他	市民に海外に広く関心と興味を持ってもらうための講座
	アジアの屋台村	H22.7.10	おでって広場	アジア各国の料理を屋台形式で市民に味わってもらい交流する
	在住外国人支援講座～盛岡生活オリエンテーション～	H22.4月と10月 (年2回予定)	岩手大学	在住外国人への生活支援事業としてごみ分別を取り上げる予定
	料理講座	H22.8月、10月、 12月、H23.2月 (年4回予定)	プラザおでって	留学生等を講師に迎え、その国の料理を一緒に作ることで理解を深めるための講座
	語学講座	H22.5月～6月 他	プラザおでって等	語学入門講座
	「キッズ・レッツ・プレイ」英語であそぼう	H22.6月、10月 開催予定 (年2回開催)	プラザおでって等	幼児が英語に興味を持ち外国人や外国語に抵抗をなくすきっかけを作る講座
	日本文化体験講座	H22.10月		在住外国人に日本の文化を体験し、日本への理解を深めてもらう講座
	中学生ビクトリア市研修	H22.10.16～ H22.10.23	カナダ・ビクトリア市	姉妹都市カナダ・ビクトリア市に中学生を派遣し、ホームステイや現地中学校での授業体験を通じて国際理解と姉妹都市交流を図る
盛岡市教育委員会	盛岡市とアールラム大学との教育交流 (ALTの招聘)	通年 (毎年継続)	盛岡市内	7名を招聘し、市立の中学校・小学校・高等学校に派遣する
	盛岡市とアールラム大学との教育交流 (大学留学生の受入)	H22.8月下旬～ H22.12月上旬	盛岡市内	アールラム大学生の日本語習得、公立中学校での英語授業への参加、盛岡市内でのホームステイをとおして、日本の生活習慣・伝統の研究、日米の教育実践の比較研究に協力するための受け入れ事業
	平成22年度米国アールラム大学留学生等オリエンテーション	H22.8月下旬	盛岡市内	上記留学生と引率教授を対象に、盛岡市勢及び盛岡市の教育概要について懇談する
	平成22年度米国アールラム大学留学生等送別会	H22.11月下旬	盛岡市内	アールラム大学短期留学の終了にあたり、盛岡市滞在の最後の思い出になるよう、夕食会を開催する
	盛岡－インディアナ州交流派遣研修 (生徒・教員の派遣)	H22.10.23～ H22.11.5	アメリカ インディアナ州	米国の学校生活・社会生活の体験、教育・文化・社会諸事情の視察をとおして日米相互の理解・交流、国際的視野の育成のため、市立中学生5名、市立高等学校生1名、引率教員2名を派遣する
滝沢村 (滝沢村教育委員会)	幼児国際理解交流会	未定	村内保育園	普段経験することの少ない外国人との交流機会を提供する
独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家	広報・普及事業 「テンパーク広場2010」	H22.9.4	国立岩手山青少年交流の家	国立岩手山青少年交流の家(テンパーク)を広く地域に開放し、当施設の様々な活動プログラム等の体験を通して、施設の理解と利用の促進を図る
	研修支援事業	通年	国立岩手山青少年交流の家	生活体験を始め、野外活動、創作活動等の各種体験活動や体育館・研修室等を利用した研修活動を支援する
独立行政法人日本学生支援機構 東北支部	北海道・東北「留学生・奨学生地域交流集会」	H22.8.6～ H22.8.8 (2泊3日)	秋田県立保呂羽山少年自然の家	野外炊飯やキャンプファイヤー等のリレクションを通じて、外国人留学生と日本人学生の相互理解を深める (中島記念国際交流財団助成事業)



# 留学生関係資料

機関・団体名	事業・行事名称	開催時期	場 所	概 要 等
財団法人岩手県国際交流協会	外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催	毎月第3土曜 15:00~17:00 (月により開催日時等が変更)	アイーナ (この他県内3地域においても開催)	県民と外国人の交流を図るため、在住外国人等を講師として開催
	巡回外国人相談・日本語教室	H22.6月~ H23.3月	県内の日本語教室	県内の日本語教室を巡回し、外国人相談対応や日本語指導に関する情報提供など行う
	外国文化紹介講師派遣	通年随時	県内各地	県内で開催される外国文化理解に関する行事にいわて留学生大使等を派遣
	外国人相談	通年随時 9:00~21:30	アイーナ	在住外国人が安心して生活出来るよう、外国人相談窓口を設置 外国人相談専門員(中国)は火曜~金曜 13:30~17:30
	外国人相談日	毎月第3水曜日 15:00~18:00	アイーナ	岩手県行政書士会の協力により在留資格等専門の相談に対応(要予約)
	日本語サポーターの紹介	通年随時		様々な日本語学習ニーズに対応するため、日本語サポーターを紹介
	多言語サポーターの紹介	通年随時		在住外国人が安心して生活できるよう通訳等として多言語サポーターを紹介
	2010 世界フェアトレード in いわて	H22.5.9 10:00~17:00	アイーナ	国際協力の裾野を拡大し、フェアトレードを推進するため開催
	いわて グローカルカレッジ	H22.9.5 14:00~15:30	アイーナ等	グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生の歴史と現状に理解を深めるセミナーを開催(1月まで全14回シリーズ)
	2010 ワンワールド・フェスタ in いわて	H22.11.28予定	アイーナ 他県内地域でも開催	国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、在住外国人や関係団体等と連携して開催
国際協力スタディツアー	2月予定	ベトナム	国際協力の推進を図るため、岩手県青年海外協力隊を育てる会との共催により実施	
岩手県ユネスコ協会連盟	第15回ユネスコ運動岩手県大会(遠野大会)	H22.7.24~ H22.7.25	あえりあ遠野	県内ユネスコ会員が集い、地域に根ざしたユネスコ活動の在り方を考える 対象:ユネスコ会員、行政関係者、一般県民、中高生 人員:約250名
	平成22年度ユネスコ活動研修会・第7回岩手県高校ユネスコ研究大会	H22.1.21~ H22.1.22	岩手山青少年交流の家	ユネスコ精神を学び、地球社会の今日的課題を学び考え、「共生」のための実践力を養う。 対象:ユネスコ会員、県内高校生、行政担当者 人員:約120名
	国際理解推進事業	通年	県内各ユネスコ協会、県内各地域	国際理解の推進に関する講演会や講座の開催の助成・支援 対象:県内ユネスコ協会、社会教育団体等主催団体 人員:多数
	ユネスコ運動普及事業	通年	盛岡市アイーナ他	国際理解に関する講演会やユネスコ活動の紹介展示等の実施 対象:ユネスコ会員、一般県民、中・高生 人員:多数
	県内ユネスコ協会情報交換交流会	H22.10月	盛岡市アイーナ他	県内ユネスコ協会間の情報交換を行い、ユネスコ活動の活性化を図る 対象:県内ユネスコ協会代表者 内容:基調講演、事例報告、情報交換
	市町村ユネスコ活動促進事業	通年	県内各地	県内ユネスコ活動の活性化を目指し、県内市町村を訪問し懇談し支援する 対象:県内市町村、ユネスコ協会、行政担当者等、ユネスコ関係者
盛岡ゾンタクラブ	第20回外国人による日本語スピーチコンテスト	H22.10.14	プラザおでって3階	岩手県に在住の外国人に5分間のスピーチをしていただく(スピーチコンテスト後に交流会を企画)
花巻ホームステイ協会	ホームステイ体験(ショートステイ体験)	随時	花巻市内	ホームステイやショートステイを通じて、この地域の日常生活や文化に触れてみませんか(1泊2日や日帰りから相談応需)
一関市	2010 ワンワールドフェスタ in いわて(一関市花泉会場)	H22.8.27 H22.8.28 H22.8.29 H22.9.4 (計4日間)	一関市花泉	岩手県南、宮城県北の国際交流団体が連携して花と泉の公園を会場に各種イベントを実施します(参加費:大人1000円、高校生以下:500円、乳幼児以下無料)

# 留学生関係資料

## 岩手県内高等教育機関における外国人留学生数の推移(平成22年5月1日現在)

学 校 名	02年10月 (H14)	03年10月 (H15)	04年5月 (H16)	05年5月 (H17)	06年5月 (H18)	07年5月 (H19)	08年5月 (H20)	09年5月 (H21)	10年5月 (H22)
岩 手 大 学	190	199	177	197*	199	198	178	190	183
岩 手 県 立 大 学	13	15	13	12	25	26	30	32	18
岩 手 医 科 大 学	1	0	0	1	2	2	2	0	0
北里大学海洋生命科学部	1	4	5	5	5	3	1	0	0
富 士 大 学	15	40	57	81	97	114	125	141	122
盛 岡 大 学	1	1	0	0	0	2	0	0	0
岩手県立大学宮古短期大学部	6	3	3	0	1	0	0	0	1
岩手県立大学盛岡短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アレン国際短期大学	13	3	0						
修 紅 短 期 大 学	1	0	0	0	0	0	0	0	0
一関工業高等専門学校	8	9	9	6	5	5	6	7	7
計	249	274	264	301	334	350	342	370	331

\*岩手医科大学の学生であるが、岩手大学日本語研修コースにも在籍している学生1名含む

## 岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況(平成22年5月1日現在)

学 校 名	受入 人数	国 別 内 訳		経 費 種 別			学 生 種 別 内 訳				
		国 名	人数	国費	政府 派遣	私費	学部 学生	大 学 院			聴講生 その他
								修士	博士	研究生	
岩 手 大 学	183	中 国	105	4	0	101	8	38	27	20	12
		モ ン ゴ ル	16	0	0	16	11	0	5	0	0
		マ レ ー シ ア	15	0	14	1	14	0	1	0	0
		バ ン グ ラ デ シ ュ	8	2	0	6	0	0	7	1	0
		韓 国	7	0	0	7	4	1	0	0	2
		ベ ト ナ ム	5	1	0	4	4	1	0	0	0
		イ ン ド ネ シ ア	4	2	0	2	0	1	2	0	1
		エ ジ プ ト	4	0	1	3	0	1	3	0	0
		ミ ャ ン マ ー	3	1	0	2	1	0	2	0	0
		タ イ	3	0	0	3	0	2	1	0	0
		フィリピン	2	2	0	0	0	0	2	0	0
		ア メ リ カ	2	0	0	2	0	0	0	0	2
		ロ シ ア	2	1	0	1	0	1	0	0	1
		フ ラ ン ス	1	0	0	1	0	0	0	0	1
		ベ ル ー	1	1	0	0	0	0	0	0	1
		イ タ リ ア	1	0	0	1	0	0	0	0	1
		キ ル ギ ス	1	1	0	0	0	0	1	0	0
		ブ ラ ジ ル	1	1	0	0	0	0	0	0	1
		ホ ン シ ュ ラ ス	1	1	0	0	1	0	0	0	0
台 湾	1	0	0	1	0	0	0	0	1		
岩 手 県 立 大 学	18	中 国	17	0	0	17	0	9	2	1	5
		モ ン ゴ ル	1	0	0	1	1	0	0	0	0
岩 手 医 科 大 学	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
北里大学海洋生命科学部	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富 士 大 学	122	韓 国	68	0	0	68	68	0	0	0	0
		中 国	54	0	0	54	34	20	0	0	0
盛 岡 大 学	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県立大学宮古短期大学部	1	中 国	1	0	0	1	1	0	0	0	
岩手県立大学盛岡短期大学部	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
修 紅 短 期 大 学	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一関工業高等専門学校	7	マ レ ー シ ア	2	0	2	0	2	0	0	0	0
		モ ン ゴ ル	2	2	0	0	2	0	0	0	0
		バ ン グ ラ デ シ ュ	1	1	0	0	1	0	0	0	0
		イ ン ド ネ シ ア	1	1	0	0	1	0	0	0	0
		韓 国	1	0	0	1	1	0	0	0	0
合 計	331		331	21	17	293	154	74	53	22	28